行　政　報　告

令 和 ８ 年 ６ 月 ９ 日

第２回潟上市議会定例会

本日ここに、令和８年第２回定例会を招集いたしましたところ、議員各位には、御出席を賜り、誠にありがとうございます。

提出議案の審議に先立ち、第１回定例会以降の市政にかかわる主な事項の報告と、提出議案の概要について申し上げます。

はじめに、このたび本市において発覚した官製談合事案について報告いたします。

本事案は、令和７年３月に市が発注した「鞍掛沼公園多目的広場夜間照明灯改修工事」の入札において、当時、建設部都市建設課の課長であった職員が、最低制限価格を業者側に漏らした疑いで５月６日に逮捕され、その後５月 27 日に起訴されたものであります。

特定の業者と本市職員の間での不適切な情報漏えい及び入札の公正性を欠いた行為により、市民の皆さまの信頼を損なう結果となりましたことを深くおわび申し上げます。

今後は、再発防止を徹底するべく、職員への倫理規範・法令遵守に関する研修を実施し、コンプライアンス意識を向上させるとともに、入札における運用ルールをより明確化し、情報管理を徹底してまいります。

改めて、市民の皆さまに深くおわびを申し上げますとともに、行政の透明性の確保と信頼回復に努めてまいります。

次に、物価高騰対応重点支援事業について申し上げます。

本市では、電気・ガス・食料品等の価格高騰の影響を受けている市民の生活を支援するため、国の交付金を活用した４つの経済対策事業を実施しており、その状況について報告いたします。

まず、１つ目は、今回で３回目の実施となりました「かたがみ給油クーポン配布事業」については、１億 3,755 万８千円分のクーポンを使用していただき、使用率は約 96.2 パーセントとなっております。

２つ目の「潟上市食料品高騰支援事業」については、住民税非課税世帯と 65 歳以上の高齢者のみで構成されている世帯を対象に実施しており、6,023 世帯に対して 8,931 万円を支給し、支給率は約 98.1 パーセントとなっております。

３つ目の「潟上市物価高対応子育て応援手当」は、子育て世帯を対象に実施し、2,389 世帯に対して 7,932 万円を支給し、支給率 100 パーセントとなっております。

４つ目の「潟上市暮らし応援ポイント給付事業」は、現在も実施中であり、５月 24 日現在において、対象者の約 86.0 パーセントにあたる 18,702 人が電子ポイントを取得している状況となっております。

今後も継続して物価高騰等に関する国及び県の動向はもとより、市民生活への影響を注視してまいります。

次に、企業誘致について申し上げます。

昭和工業団地において、誘致企業の工場建設に伴い、４月 17 日に KIChemical（ケイアイケミカル）株式会社、４月 28 日には株式会社ＴＧＦの地鎮祭が執り行われました。

また、現在建設中であります、株式会社プレステージ・インターナショナル秋田ＢＰＯ潟上キャンパスにおいても、８月１日の操業開始に向け、準備が順調に進められております。

こうした企業の誘致は、若者や女性の県外への流出抑制や県内への定着・回帰の促進はもとより、地域経済の活性化に大きく寄与するものと期待しております。

引き続き、県とも連携しながら、誘致企業の円滑な操業開始に向けた万全の支援を行うとともに、市民の雇用機会の確保と産業振興に取り組んでまいります。

次に、追分保育園の民営化について申し上げます。

来年度の移管に向け、今年４月から運営事業者となる「社会福祉法人風の遊育舎」より、移管後の園長及び主任保育士予定者のほか４名の担任保育士が常勤し、園児や保護者との信頼関係の構築に努めております。

引き続き、保護者・市・同法人による「三者協議会」を定期的に開催し、運営内容について協議を重ねながら、円滑な移管に向けて必要な準備を着実に進めてまいります。

次に、潟上市総合防災訓練について申し上げます。

今年は、５月 26 日の火曜日、県民防災の日に総合防災訓練を実施いたしました。

当日は、市内全域へのサイレンによる情報伝達訓練や、津波浸水想定区域での避難訓練の実施に加え、地震による火災発生を想定した放水訓練を旧東湖小学校、大豊小学校で行い、豊川地区では河川の氾濫を想定した水防訓練を行っております。

また、５月８日に「一般社団法人秋田県ドローン協会」と「災害時等における無人航空機による協力に関する協定」を締結しており、本協定に基づき、ドローンを活用した被災状況の把握と情報収集訓練を併せて行っております。

災害発生時において、迅速な避難行動や応急活動が可能となるよう、関係機関との協力体制を維持するとともに、自主防災組織の組織化の推進などを通じて市民の防災意識を高め、地域防災力の更なる強化に取り組んでまいります。

次に、全市クリーンアップについて申し上げます。

４月 19 日、県が定める４月第３日曜日の「あきたビューティフルサンデー」に合わせ、全市クリーンアップを実施いたしました。

当日は好天のもと、72 自治会、3,409 人の市民の皆さまに早朝から御参加いただき、地域の環境美化に取り組んでいただいた結果、約４トンのごみが収集されました。

市では、クリーンアップ用のごみ袋の無償配付や、収集した

ごみを自治会がクリーンセンターへ搬入する際の手数料の免除を行い、活動を支援いたしました。

今後も、市民協働による環境美化はもとより、自治会活動の活性化や、放置ごみの処分を通じた地域安全意識の醸成に努めてまいります。

次に、洋上風力発電事業に関する取組について申し上げます。

男鹿市、潟上市及び秋田市沖における洋上風力発電事業は、令和10年6月の商業運転開始を目指し、国により選定された発電事業者による準備が進められているほか、地域における事業理解の促進に向けた情報発信も積極的に行われております。

また、本事業に関する更なる情報発信や地域における事業理解の促進に加え、来訪者の集客拠点となり得る「ビジターセンター」を天王スカイタワー内へ設置することとし、市と発電事業者との間において協議を進めております。

あわせて、発電事業者が地域共生を目的とした各種振興策への出捐（しゅつえん）が、11月以降に可能となる見通しであることから、各主体が実施する地域振興策に関する事項について、漁業関係者、関係自治体等との協議を継続してまいります。

今後も男鹿市、潟上市及び秋田市沖における洋上風力発電事業者に対して、様々な情報発信や地域理解の促進、適切な事業推進を求めるとともに、必要な情報収集を行いながら、地域産業への波及効果を確実に捉え、地域の活性化につなげてまいり

ます。

次に、令和７年度各会計の決算概要について申し上げます。

一般会計については、歳入決算見込額約 217 億 6,600 万円、歳出決算見込額約 211 億 3,800 万円、歳入歳出差引見込額約６億 2,800 万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源約１億 6,200 万円を差し引いた実質収支見込額は約４億 6,600 万円となっております。

主な特別会計の実質収支見込額は、国民健康保険事業特別会計で約１億 4,200 万円、介護保険事業特別会計で約１億 3,500 万円となっており、その他の特別会計におきましても実質収支見込額は黒字となっております。

企業会計の水道事業会計と下水道事業会計の純利益は、水道事業会計は約 7,500 万円、下水道事業会計は約 3,200 万円となっております。

以上が令和７年度各会計の決算概要であります。

本定例会には、令和７年度潟上市一般会計予算の継続費繰越計算書ほか３件の報告、潟上市市税条例の一部を改正する条例の専決処分ほか２件の承認、議案として潟上市印鑑条例の一部を改正する条例（案）ほか６件の条例案、財産の取得について２件、令和８年度潟上市一般会計補正予算（案）、各特別会計補正予算（案）５件、人事案件として潟上市固定資産評価審査

委員会委員の選任、潟上市教育委員会委員及び潟上市農業委員会委員の任命についての案件を提出しております。

以上が行政報告並びに本定例会に提出しております議案の概要であります。適切なる御決定を賜りますようお願い申し上げまして、私からの報告とさせていただきます。